

山の図書館 ニュース

2017年8月20日
九州登山情報センター

第58号



夏山 上高地・明神池付近

目次

ページ

第13回 通常総会 記念講演 夏山フェスタin福岡に参加して	2
『氷壁を越えて』石岡繁雄展を見る	3
山の日特集・日本の登山の伝統を考える	4
宝満山の登山道	5
山と人 野口冬人、斎藤一男、傾山の四季	6
登山時報「山の文化遺産めぐり」掲載	7
広告 アルパイン・ツアー/ 編集後記	8

登山家 石岡繁雄
生誕百年記念
企画展(上高地)

石岡の安全学から
山岳遭難防止へ



石岡繁雄 企画展
(上高地)を観る

ナイロンザイル事件ばかりではない石岡繁雄。『屏風岩登攀記』のとおりにクライマーで教育者であり、幾つもの特許を有する研究者。

とは言え、私たちにはやはり「ナイロンザイル事件」の闘士。敗戦後の民主主義を敏感に捉えた思想が、人権を踏みにじる「不正義」を許さなかった。登攀中にザイルが切れた「事故」が「事件」に進展したの

私の戦後の本格的な研究は
ナイロンザイルの岩角欠陥
の究明ら始まった。究明と研究
「ザイルに導かれて」より

は、欺瞞により人権が侵されたから、そして人命が失われた事実があったから。

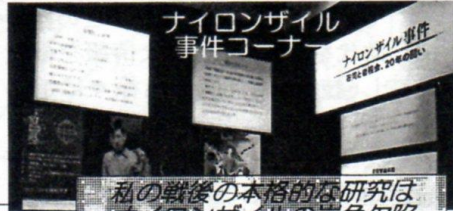
登山者の命を守るために、科学の使徒が科学の力もて闘った。視線の先には「社会」があり、若き精鋭等と共に歩き道を開いた。

この展示された膨大な資料群がその足跡。「一步一步しっかりと登れ。輝く生命のために」と呼びかけてくる。



会場の展示

膨大な資料が
展示される



ナイロンザイル
事件コーナー



5mmミニロープを付けボルトを落す

切断したミニロープ

ミニ実験 岩角 90度で簡単に切れ、角を丸めると切れない



前穂高東壁 事故の前日の登攀が撮影されていた。昭和30年1月1日15時頃